



秋竹小 学校だより

第117号 平成26年6月25日

風通るたびに輝くさくらんぼ

プールに歓声があがります

前日（18日）のプール開きが雨で実施できなかったため、6月19日（木）1日遅れで水泳の学習が始まりました。低学年は、水慣れから。ビート板を使ったり、フライングを使って輪くぐりをしたりしました。20日（金）の高学年では、早速泳力の確認からです。ほとんどの子が1年ぶりの水泳ということで、昨年の記録までは届かないこともありましたが、この記録をもとにチーム分けをして、



これからの練習が進んでいきます。中学年は、今週末に特別水泳の授業が予定されており、講師の先生から、泳ぐポイントを詳しく教えていただきます。すでに水の事故が、あちらこちらで起きています。水に浮くこと、泳ぐことをしっかりと身に付けさせたいと思います。



救急法講習会

水の事故だけでなく、いろいろな事故に対応することができるよう、東部消防署の救命士の方を講師に、救急法について学びました。今回は、PTA 安全研修委員のみなさんだけでなく、参加希望のあった保護者の方にも一緒に勉強していただきました。また、職員室での執務がほとんどである事務職の川本さんも、心配蘇生法や AED の使い方について、講習を受けました。なんとといっても、秋竹小学校にある AED の一つは、川本さんのすぐ後ろにありますから、いざという時は、AED を持って走っていただくことになります。

「倒れた人が、歩いて退院できるかどうかは、救急車が到着するまでの数分間の対処で決まる」と、救命士は言われました。暑い体育館の中で1時間にわたっての講習会でしたが、実りあるものとなりました。

国語の学び

今年も、秋竹小では、子どもたちの伝え合う力を伸ばすために言語活動の充実を図っています。

1年生では、国語科「こんな いしを みつけたよ」で、石に名前をつけ、「～からです」をつけてそのわけを話す学習をしています。教材文を手本に、上手に話す練習をしています。

2年生では、国語科「スイミー」で、登場人物の心情や場面の情景を読み取り、「スイミーに言ってあげたいこと」を吹き出しカードに書くという学習をしました。単元のまとめの感想では、「マグロに赤い魚だけたべられちゃってかなしかったよ」「大きな魚をおいでしたから、わたしはすっきりしました」「出てこいよ。～のところがすきです。すごいやさしい声かけだとおもうからです」などがありました。スイミーの気持ちに寄り添って学習できたようです。



6年生も楽しんで…

普段のなかま活動では、リーダーとして、5年以下の子どもたちが楽しく活動できるよう心配りをしている6年生ですが、学級のレクリエーションでは、思いっきり楽しんでます。今週は室内レクで、ハンカチ落としなどを、行いました。どの子ども
実に楽しそうで、教室内に
笑顔爆発！！でした。



笑顔爆発！！でした。笑顔爆発！！でした。笑顔爆発！！でした。スイミーの気持ちに寄り添って学習できたようです。